

第1回遠軽町まちづくり会議（生田原・遠軽地域合同開催）		
開催日時	平成28年9月20日（火）18時30分～20時30分	
開催場所	遠軽町役場3階第4会議室	
出席委員	別紙のとおり	
欠席委員	別紙のとおり	
事務局	佐々木町長、加藤部長、佐藤課長、平間生田原総合支所長、今井主幹、高橋主幹、松村係長、田中主任	

議件	発言者	内 容
		開会前に委嘱状の交付
1 開会	佐藤課長	会議の議長につきましては会長が行う事となりますが、今回は第1回目の会議でありますことから、議事の進行につきましては事務局の方で進めさせていただきます。
2 町長挨拶	佐々木町長	合併後、一体感が一番大事だと思ってまちづくりに取り組んできた。10年で足りなかった部分は、本会議を通してまちづくりにつなげていきたい。
3 委員紹介		
4 議件	今井主幹	(内容説明)
(1)まちづくり会議について	佐藤課長	ただ今の説明について、ご質問等ございませんか。
		意見なし
(2)会長及び副会長の互選について	佐藤課長	次に、会長及び副会長の互選を行います。 先程ご説明しましたように、まちづくり会議の会長及び副会長は、委員の互選により定めることとなっております。 まず、生田原地域まちづくり会議の会長等の互選を行いたいと思います。互選の方法について、ご意見はありますか。
	大柳委員	会長に舟木廣隆さん、副会長に杉本一幸さんを推薦します。
	佐藤課長	ただ今、会長に舟木さん、副会長に杉本さんが推薦されましたが、これにご意見はありますか。
	全委員	拍手
	佐藤課長	それでは、生田原地域まちづくり会議会長に舟木廣隆さん、副会長に杉本幸一さんが選出されました。 つづきまして、遠軽地域まちづくり会議の会長等の互選を行います。互選の方法について、ご意見はありますか。

		(事務局案の声あり)
	佐藤課長	ただ今、事務局案という意見がございましたので、申し上げます。会長に宮崎良公さん、副会長に大平芳人さんを事務局案として提案いたします。これにご意見等はありませんか。
	全委員	拍手
	佐藤課長	それでは、遠軽地域まちづくり会議会長に宮崎良公さん、副会長に大平芳人さんが選出されました。
		杉本副会長、宮崎会長より挨拶
(3)平成28年度以降の主な施策について	今井主幹	(資料1、資料2、資料3、その他により説明)
	宮崎委員	遠軽ICから、北見と紋別に分岐するようになるのですか。
	加藤部長	遠軽ICはそのまま残ります。遠軽IC以降、さらに延長してできたところにJCができ、そこから紋別方面と北見方面へ別れることになっていくと思います。
	佐々木町長	追加で配布した資料をご覧ください。これは、北海道の高速道路網、2環状8放射の形を目指して40年近く工事しており、やっと遠軽まで近づいてきたところです。それに合わせて、ロックバレーの所に、道の駅とスキー場ロッジを併設させた施設を整備することをずっと検討していたところです。 そこをオホーツクの玄関口として位置づけ、発信基地として、しっかりとやっていきたいと考えています。
	佐藤課長	遠軽ICについて、よろしいでしょうか。 2点目の(仮称)えんがる町民センターの整備については、現在用地取得等を進めているところでございます。また新たな会を作りまして、みなさんに参画していただきながら進めていきたいと考えております。 3点目の(仮称)スポーツ広場の整備については、福路地域に人工芝のコートを2面整備しているところでございます。
	佐々木町長	町民センターについて補足します。中央病院の所に建設するとお思いの方もいるかと思いますが、ご存知のとおり、あの場所は傾斜となっており、当初から用地規模の問題が議論されていきました。我々は当初から中央病院の場所へ建設するという考えは持っておりません。今、イト電の方の用地も協力してくれる可能性があるという事で進めています。そうなれば駐車スペースも確保できます

		し、できるなら平地に建てたいと考えております。
	大平委員	イト電の用地が購入できた際には、ふぁーらいとの活用方法はどのように考えていますか。
	佐々木町長	イト電については、これから前向きに協力するというお話をいただいたところであり、移転先の問題もありますので、あくまで可能性の話をしたところです。ふぁーらいについては、センターの第2別館として利用するなど検討したい。
	斉藤(晴)委員	町民センターの考える会で選定された委員は、今後も引き続いて部会に参加することになりますか。
	佐藤課長	考える会については、解散しております。用地の取得等については職員が対応しているところです。今後、具体的な建物の大きさや利用目的など、内容の部分で検討するための新たな会を設けることを考えております。
	斉藤(晴)委員	道の駅について、スキー場利用の助成制度などは体験部会や産業部会で継続して検討していくことになるのでしょうか。産業・食部会について、特産品を使った女性の会があるので、そういった方たちが参加して行う事は出来るのでしょうか。
	佐藤課長	現在行っているのは産業・食部会で、具体的に中に入る施設をどうするかという協議を進めています。お話の団体等で、関心のある方に入っただいて進めております。体験部会については、これから立ち上げることとなります。今まではスキー場としての利用がメインとなっておりますが、夏場利用も含め、年間を通じた利用を検討してもらう事となります。
	由利委員	福祉センター解体後の跡地の利用については、何か決まっていますか。
	佐藤課長	現在は決まっておりません。
	佐々木町長	施設を取り壊した後に、町として新しく何か施設を建てるという事は、今のところ考えていません。
	斉藤(晴)委員	10月から行われる生田原のデマンドタクシーについて、今まで高齢の運転手がやってこられていて、生田原の方たちが困っておられると思います。私が思うのは、一人暮らしの高齢者の方達を対象に、冬の間、空いている借家を借りて、そこに共同で住んでもらうと、デマンドタクシーも利用しやすいと考えます。
	佐藤課長	今のところそこまでは考えてはおりませんが、空き家

		対策も早急な問題となっておりますので、今後、考えていく必要があると考えております。
5 講話	佐々木町長	「遠軽町のまちづくりについて」
6 意見交換	佐藤課長	それでは、ここで意見交換とさせていただきます。全般に関する事でも、各地域に関する事でも構いませんので、ご意見を伺いたいと思います。
	杉本委員	先程の町長のお話を聞くまでは、まちづくりとはどうしたらいいのか、私自身がぴんときていない部分もありました。お話を聞いて、目の前が開けてきた気がします。おっしゃるとおり、町の仕事、道の仕事、国の仕事は分かれていると思います。町でやる仕事は、確実にきちんとやっ行って行かなければいけないという事が基本だと思うので、特にインフラ整備については、本当に大事なことです。お金のかかる事ではあるけれども、その辺注意しながら、まちづくりの勉強をしていきたいと思いました。
	斉藤(晴)委員	コスモスフェスタの川柳、インターネット等を通じて全国から300件以上の応募があり、その中の優秀者10作品に対し、遠軽町の地場産品を送ると聞きました。そこで、スポーツ団体や文化団体の町民の中から、優秀者に対し商品を送る等、人づくりをしてはどうかと思います。
	佐々木町長	表彰につきましては、体育協会や文化連盟でも行っていますし、教育員会の方でも毎年何名か表彰しております。
	佐々木町長	あと、子育て支援の方で、遊具について話が出ることもあるのですが、何か意見ありませんか。
	遠藤委員	紋別の流水公園のように、無料で遊べるような施設があるといいという話は良く聞きます。 私も何回か家族で行きましたが、いつも人が沢山いて、無料でいいのかと思うくらい魅力的な遊具が充実していました。そういう施設が、遠軽町の中にあればいいなという話はよく聞きます。
	佐々木町長	例えば、あのような施設を遠軽町に作る場合、町の中心地にこだわらず、ある程度離れたところに作っても、今の方たちは車を持っているから、問題にならないでしょうか。
	和田委員	紋別まで行くことを考えたら、問題ないと思います。
	佐藤課長	今、ちゃちゃワールドの方でいろいろ工夫をして、親子で利用した時は無料という事もやっています。

杉本委員	最初のPRが足りなかったのか、大人1人につき子ども1人無料という事でやっているのですが、その辺を理解していない方が多く、最初は混乱しました。実際に無料開放は、どうでしょうか。
遠藤委員	家が近い事もあり、何度も利用しています。
杉本委員	紋別の公園と比較して、無料だったらちゃちゃで良いよねとなるでしょうか。それとも遊ぶものに不満があるのでしょうか。その辺を教えてください。
遠藤委員	不満があるのではなく、混んでいる時ほど同じおもちゃに子供が集中するので、ある程度の広さも必要なかと思えます。前に美幌町の、木のおもちゃで遊べる無料の施設に遊びに行きましたが、そこは天井も低く狭い空間でした。けがの事等いろいろ考えましたが、子どもたちを見ていると、小さなうちでおままごとをして、それはそれで楽しんでいるようでした。
杉本委員	ちゃちゃワールドにも小さなハウスがあって、そのなかにおままごとセットがあって、小さな子どもたちがそこに集中しています。広いばかりではなく、そういうものが充実すればいいのかなと思います。
遠藤委員	混んでいると順番待ちになってしまうので、その一面がもう少し広ければ、みんなが利用できるのかなと思います。
佐々木町長	小さい子だけではなく、高校生も同じですよ。今、遠軽高校の生徒を維持するために、下宿代、交通費の1/2の補助を実施しています。
大平委員	子育ての話で、今日、出産のために退職した元職員から、復職したいという申し出がありました。介護職員も不足しているので、ぜひ復職してほしいと思いましたが、復職したくても保育所の申し込みがいっぱいでした。ほかにも聞きましたが、保育士がもう1人いれば受け入れられると言われました。
佐々木町長	常時そういう対象者がいれば対応できるかもしれませんが。それでも0歳児の受け入れはやっています。白滝でも、農業政策のためにやっています。何か月か経過して0歳児でなくなれば受け入れ可能となるので、その辺の判断が難しい話だと思います。
由利委員	合併して10年、まちづくりのこういった会議を持つのに、まだ旧町村の地域割りで会議を持つという事がど

		うなのかと思います。本来であれば、1つの遠軽町として、旧町村の垣根を外して1つのテーブルを囲んで話す場という方が、共通認識を持ったり、課題や状況が見えたりするのではないかと思います。
	佐々木町長	冒頭の挨拶で話したのが、まさにそういった事です。こういった会を作っているという事が、一体感が出ていないんだなと思います。逆に言うと、なくなることが良い事なのかもしれません。旧地域審議会の意見として、こういった会を作った方が良いという事で作りました。
	由利委員	少し荒療治かもしれませんが、最初から枠を外してやることもできるのではないのでしょうか。
	佐藤課長	先程、会長、副会長が決まりましたので、4地域集まっていたいただき、全体的な話をする機会を今年度1回は設けたいと考えています。その中で、同じような意見が多ければ、来年度以降、お互いの地域が交流できるようなスタイルに変えることは可能です。
	由利委員	できれば、そういう方向に向かっていく会であってほしいと思います。
7 閉会	佐藤課長	ありがとうございます。 この辺で、今回は終了とさせていただきます。次回以降は、会長、副会長と調整させていただきながらご案内いたしますので、よろしくをお願いします。